

令和7年度 静岡県立浜松南高等学校第1回学校運営協議会議事録(案)

I 日 時

令和7年11月6日(木) 午前10時から正午まで

II 場 所

静岡県立浜松南高等学校 第一応接室

III 出席者

学校運営協議会委員

塩見 彰睦(静岡大学情報学部 教授)

奈木真由美(同窓会会長)

藤村 頼長(新津地区自治会連合会長)

山下 広祐(有限会社春華堂経営サポート室 HOW`z 事業部)

欠席者

川嶋 利幸(浜松ホトニクス中央研究所産業開発センター長)

林 左和子(静岡文化芸術大学文化政策学部 教授)

森園 大介(P T A会長)

学校職員

校 長 鈴木 学

副 校 長 向井 愛子

教 頭 山崎 修司

事 務 長 中村 光子

教務主任 後藤 健吾

IV 内 容

1 授業参観

1年生(数学)、2年生(国語)の授業参観及び新校舎新築工事の様子を南館3階より見学した。

2 校長挨拶

授業参観の後、新校舎完成後の本校のあるべき姿として、7時限目削減及び補習についてご意見をいただきたい。

最近の授業は、昔の講義型の授業ではなく、主体的で対話的な授業になっている。授業参観の際には、生徒が思考したり表現してる場面や、自学を促す質問や教材の提示があるかといった事を見ていただきたい。

3 議事

(1) 生徒の主体的な学びについて

ア 校長説明

新校舎の建設や生徒数の減少を踏まえ、本校が目指す姿を「『生徒の主体的な学び』の育成のため、教員が主体的に学習指導を行う学校」、「新校舎の学習スペースを活用し、放課後等には生徒の自律的な学習が活発に行われている学校」とする。

イ 協議

○「教員が主体的に学習指導を行う」とは、具体的にどういったことなのか。

また、色々な教員がいる中で、主体的にできるのか

○ボーイスカウトで関わりがある高校生から、放課後に勉強できる場所を探していると言った話を聞いたことがあるので、校内に学習するスペースがあるのは魅力的だと思う。

○自主学習をするスペースがあるのは非常に良いと思う。教員がどのようにかわっていくのか。

→最初から自主学習ができる生徒ばかりではないのでサポートしていかなければいけない。新校舎は、生徒が質問に行きやすいように同じ階に職員室や教科準備室を配置している。

○グループによる対話など工夫された授業をしていて、昔に比べて進化していると感じた。学習スペースを使用して自主学習している生徒のモチベーションはどこにあるのか。将来的な目標がしっかりあってやっているのか、それとも、いい大学に行きたいというだけなのか。高校生のうちから自立してしっかりと将来の目標を持つことができれば幅が広がるはず。

→全員が将来の目標があって自主学習しているわけではないと思うので、O B講話などを実施して刺激を与えるようにしている。自主学習できる力があれば、大学に行っても役に立つのではと思う。

○本人の特性で主体的か受動的かというのがある。会社にもよるが、特性に合った部署に配属することもできる。主体的か受動的かの判別は難しいと思う。

○大学とのギャップを感じた。大学の100人クラスで対話的授業をするのは難しいなど、環境の違いがあるが、高校までこのような授業でやってきているので、大学も変わっていかなければと思った。

○電子デバイスを使用していなかったが、電子デバイスを使用すれば個別最適な学びができるのでは。A Iを使って対話するといった深い学びができるかもしれない。

→英語科ではA Iを使った授業をしている。教員でも使い始めているが大きな業務改善まではしていない。

(2) 今後の浜松南高校の在り方について

ア 校長説明

放課後の創出と新たな補習の具体像として、現在、週3回ある7時限目をなくし、放課後の時間を作って自主学習できるようにする、補習については、各教員が生徒に必要と考えた内容について主体的に実践する機会を設ける。ただし、理数科の補習については現状と変更はない。

イ 協議

○授業を削減することでしわ寄せはこないのか。

→演習時間が少し減る。希望すれば補習等で対応もできる。

○どれだけの教員が補習を実施するか

→進学実績を上げるために何ができるか考えてもらう必要がある。

○「補習」という言葉は、授業が休講になったり欠席した時、又は学力不足でおこなうイメージがある。自主学習として使うなら、もう少し前向きな名称に変えたらどうか。

○勉強しに行こうという姿勢ができれば自主的な学びに繋がっていくと思う。

そういった雰囲気醸成が大事。そのサポートをするのが教員であって、教員側が受け身であってもいい。生徒から頼られたときに相談にのれる教員であってほしい。教員が主体的になると生徒が主体的にならなくなりそうな気がする。バランスがうまくとれるといい。

4 今後の予定

(1) 第3回 令和7年12月19日(金) 13:00~15:30 (理数探究発表会)

(2) 第4回 令和8年 2月中旬